

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。				
○課題と対応 平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方 2019 年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに 196 町内会中 121 の町内会の防災マップを作成する予定としている。今後は、未作成である 75 町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる 18 町内会については 2020 年度末までの作成を目標とし、それ以外の 57 町内会については、5 年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2022～2023 年度で実施予定）に合わせた作成を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	196 町内会 /196 町内会	更新	更新	100%
○2024 年度の取組内容等 市 HP に防災マップを掲載できるよう、土砂災害警戒区域等のハザード情報等への更新について各地区への動き掛けを行った。 更新の取組に着手した町内会に対しては、新しいハザード情報を掲載した基図の提供を行い、防災マップの更新の支援を行った。				
○2025 年度の目標値と取組方針等 東区まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。				
○課題と対応 平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 毎年、「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアのうち、 <u>1 エリアにつき1 地区</u> で訓練を実施している。 今後も同様な形で訓練を継続する。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 地区/年	4 地区/年	4 地区/年	100%
○2024 年度の取組内容等 (実績)				
エリア	地区	実施日	開催場所	備考
二葉	尾長	6/8	尾長小学校	避難所運営訓練
	尾長	9/1	尾長小学校	防災キャンプ
	尾長	12/15	尾長小学校	東区防災訓練・防災フェア
福木・温品	上温品	9/21・22	上温品小学校	防災キャンプ
	福木	10/5	福木中学校	ふれあいまつり（防災フェア）
	温品	3/23	温品小学校	防災訓練
戸坂	戸坂	12/1	災害伝承館	防災研修会
牛田・早稲田	早稲田	7/7	早稲田中学校	避難所運営訓練
	牛田	10/5・6	牛田小学校	防災キャンプ
	早稲田	11/24	早稲田中学校	防災訓練・防災フェア
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4 地区/年	<ul style="list-style-type: none"> ・2024 年度に防災訓練未実施の学区を優先する。 二葉エリア・・・・・・・・開催に向けて協議する。 福木・温品エリア・・・・開催に向けて協議する。 戸坂エリア・・・・・・・・開催に向けて協議する。 牛田・早稲田エリア・・・牛田中学校で東区防災訓練・防災フェアを実施予定 			
○取組上の課題等 日頃の自主防災活動や防災訓練の実施により、地域住民の防災意識の向上を図れるよう、2024 年度に防災訓練未実施の地域に対して、積極的に働き掛けを行う。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的な取組 要支援者を地域で支えよう！	担当課 地域起こし推進課 地域支えあい課
----------------------------	-------------------------	----------------------------

まちづくりのテーマ及び項目
1 安全・安心で、元気あられるまちづくり
(2) 避難行動要支援者への支援

事業目的・内容

災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的事項を整理した計画（個別避難計画）を作成できるよう支援を行っている。

○課題と対応

要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。

○指標 ※2022 年度指標修正

対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数

○目標値の考え方

2021 年度までは、個別避難計画を作成した地区数を目標としていたが、2021 年度において目標を達成したことから、2022 年度からは、2021 年度に作成した人数が 16 人だったことを踏まえ、毎年度の個別避難計画の作成人数を 20 人以上とする。

○目標値と進捗状況

年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の目標値	23 人/年	20 人以上/年	56 人/年	280%

○2024 年度の取組内容等

地域づくり調整会議を活用し、地域起こし推進課及び地域支えあい課の地区担当職員への防災研修を実施するとともに、各圏域で個別避難計画の作成支援が行えるよう、地区担当職員が避難行動要支援者及び福祉関係者、地域団体等との調整を行い、個別避難計画を作成した。

圏域名	地区名	要支援者	同意者	優先作成対象者等				今年度作成
				人数	本人作成済	対象外	未作成	
福木・温品	福 田	177(1)	65	12	2	2	8	8
	馬 木	171	68	17	8	1	8	6
	温 品	175	64	5	2	0	3	2
	上温品	137	50(1)	12	3	4	5	5
戸坂	戸 坂	352	142(3)	31	8	5	18	10
	戸坂城山	137	46	13	2	5	6	5
	東 浄	169	71	13	6	2	5	5
牛田・早稲田	牛田新町	148	65(1)	8	2	4	2	1
	牛 田	283	122	10	5	2	3	2
	早 稲 田	110	39	14	7	4	3	3
二葉	中 山	193	76	10	0	5	5	3
	尾 長 (幟・白鳥含む)	513	201	27	5	10	12	5
	矢 賀	169	50	4	1	2	1	1
計		2,734(1)	1,059(5)	176	51	46	79	56

※要支援者の括弧内の数は、申出により年度途中で追加した者の数

※同意者の括弧内の数は、今年度の個別計画作成時に、来年度以降は不同意とする旨の申出があった者の数

※対象外とは、入所・死亡・転居等の名簿削除事項に該当する者及び公助・危機管理室作成対象となる者の数

○2025 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
40 人以上 /年	地域住民及び福祉関係者と連携して、災害危険区域に居住する者、支援者がいない者及び計画作成支援を希望する者に対して優先的に個別避難計画作成を支援していく。

※目標値は、東区まちづくりプランの見直しで新たに設定した数値とする。

○取組上の課題等

福祉的な専門知識が必要となる医療的ケア児・者についても、障害自立支援課、危機管理課と連携して計画の作成及び訓練実施を進める。

○備考 優先作成対象者等の人数については、昨年度は優先対象者で、今年度は優先対象者ではなくなったが、そのことが分かる前に計画作成した人数を含む。

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的 な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">447人</td> <td style="text-align: center;">500人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">92%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	447人	500人	460人	92%
年度	2023 実績	2024															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	447人	500人	460人	92%													
○2024 年度の取組内容等 12月7日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、講演会の代替として、地域コミュニティの活性化につながる発表を行った。 <発表内容> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域が変わる！広島 LMO の取組（上温品まちづくり協議会） ・ 高校が変わる！学校改革の取組（学校法人松本学園広島桜が丘高等学校） ・ テレビ局が変わる！地域連携・社会貢献の取組（広島テレビ放送株式会社） 																	
○2025 年度の目標値と取組方針等 東区まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。																	
○備考																	

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が 2 件であるため、毎年度 2 件以上を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6 件/年	2 件以上/年	3 件/年	150%
○2024 年度の実績内容等 1 次募集での新規申請は 1 件のみであったことから、2 次募集に向けて、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなどして制度を周知した。その結果、2 次募集、3 次募集で新規申請がそれぞれ 1 件ずつあり、全 3 件となった。				
区分	団体名	事業名		
1 次募集	福田五月ヶ丘町内会	こどもオープンスペース		
2 次募集	福田五月ヶ丘町内会	福田五月ヶ丘ささえあい事業		
3 次募集	牛田新町 4 丁目町内会	春祭り～桜を通じた地域活性化事業～		
○2025 年度の目標値と取組方針等 東区まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的 な取組	地域の安全は地域で守ろう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラの設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 台/年	5 台以上/年	2 台/年	40%
○2024 年度の実績内容等 制度について、市 HP（4 月 15 日掲載）、「市民と市政（4 月 15 日号）」及び窓口で広報したほか、追加募集では各地区社会福祉協議会に案内を送付した。 その結果、1 件 2 台（尾長）の申請が交付決定され、2 台とも設置を完了した。 また、来年度の申請に向け、防犯カメラ設置を検討している町内会に、申請方法や設置に係る手順等を説明した。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5 台以上 /年	募集の際には、地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間 5 台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 防犯カメラの必要性や補助制度の周知が不十分なため、未設置地区を中心に防犯カメラの必要性やランニングコストを含めた設置に係る費用などを丁寧に説明し、防犯カメラの設置を呼び掛けていく。				
○備考				

アクションプラン 検証シート（2024年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和37年度から補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が15か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度20か所の新規設置を目標に取り組む。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	3月末実績	進捗率
年度毎の 目標値	22か所 /年	20か所 /年	13か所 /年	65%
○2024年度の取組内容等 区役所が新規設置する防犯灯については、要望のあった9か所について、設置工事が完了した。 市からの補助金で町内会が新設する防犯灯については、設置申請のあった4か所について、設置が完了した。				
○2025年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
20か所 /年	設置要望があった防犯灯については、早期に設置工事が行えるよう、必要な依頼等を引き続き実施する。 市が交付する補助金により、町内会が新設する防犯灯については、引き続き、補助金制度の周知を図ることにより、年度目標値をクリアできるよう努める。			
○取組上の課題等 防犯灯の新規設置については、工事担当課が全区分を取りまとめた上で工事発注するため、要望を受けてから設置するまでかなりの時間を要している。				
○備考 市からの補助金（街路灯設置費補助金）については、町内会等から要望等の相談を受理次第、交付要綱に基づき、順次現場確認等を行うなどして交付可否等を判断する。				

アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-⑤	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり ⑤ 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6回/年	6回以上/年	6回/年	100%
○2024 年度の実施内容等				
区 分		実施状況		参加者数
交通安全街頭キャンペーン		春	4月 8日（木） 広島駅新幹線口周辺	43人
		夏	7月 11日（木） ペDESTリアンデッキ	雨天中止
			7月 15日（月） イオンモール広島府中	35人
		秋	9月 26日（木） 広島駅新幹線口周辺	45人
自転車交通マナー教室		冬	12月 7日（土） イオンモール広島府中	50人
		6月	6月 19日（水） 広島桜が丘高校	915人
		3月	3月 8日（土） 広島テレビホール	700人
その他、交通安全運動期間中は、区役所ロビー展、ポスター・のぼり旗の掲示、館内放送及び東区 Facebook により啓発を行った。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上 /年	交通安全街頭キャンペーンを年4回、自転車交通マナー教室を年2回の計6回以上開催する。			
○取組上の課題等 自転車交通マナー教室については、交通マナーを向上させる内容を検討する。				
○備考				